



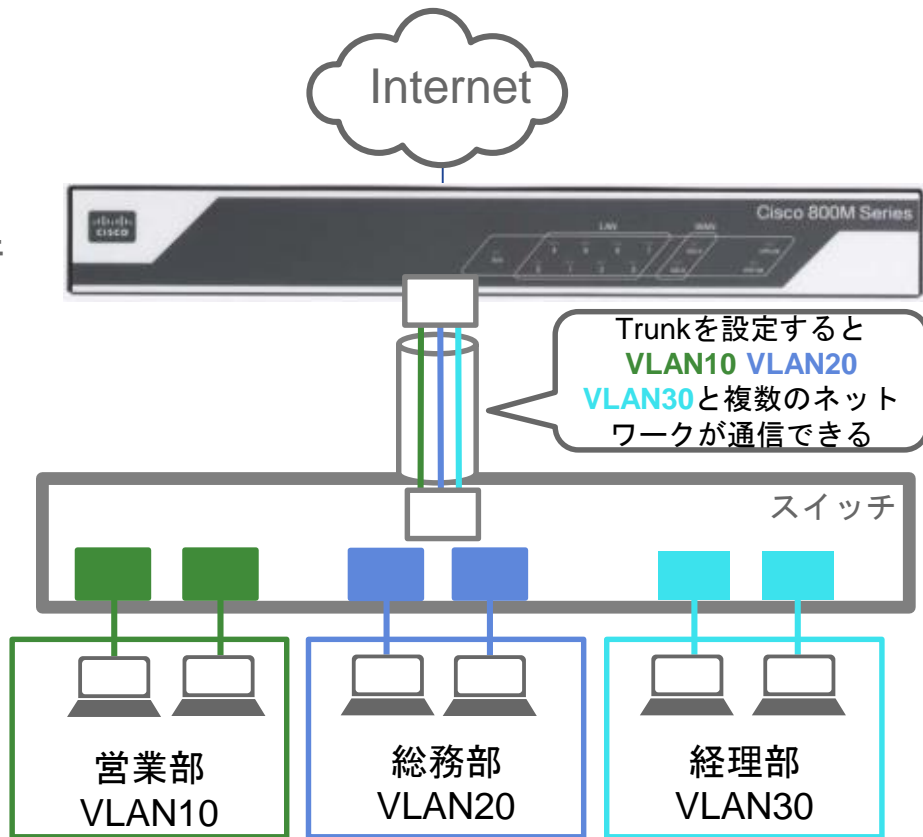
CCP Express 3.3 switchport trunkの設定ガイド

※本資料は2017/02現在のハードウェア/ソフトウェアにおけるガイドです

Trunkとは

それぞれの仮想ネットワーク(VLAN)を1つのインターフェイスで通信できる技術

例) 各部署で専用のネットワークで分けた時お互いのネットワークに通信するには、ルータが必要です。このルータに繋げるには共有となるトランクが必要となります。



CCP Express Trunk設定方法

構成例-1

全ての部署を通信できるように
ルータの設定を行う

スイッチ側は

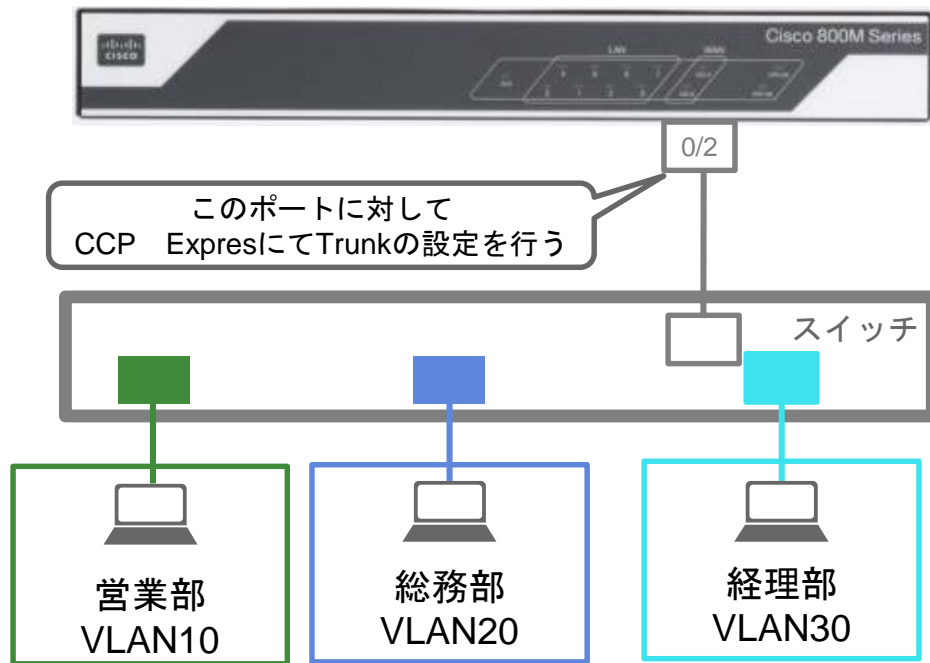
VLAN10 (営業部)

VLAN20 (総務部)

VLAN30 (経理部)

Trunk

の設定済みとします



CCP Express Trunk設定方法

インターフェイスの設定-1

CCP Expressを起動し

ホーム画面の

「**インターフェイスと接続**」

をクリック



CCP Express Trunk設定方法

インターフェイスの設定-2

Trunk設定をしたいポートを選択する
(今回はGigabitEthernet0/2)

アクション欄の☑をクリック

インターフェイス

ループバックの追加 VLANの作成 編集 削除

🖱️ プライマリWAN:: GigabitEthernet0/4(Dialer1) 🖱️ バックアップWAN:未設定 [ゾーン](#)

※注: 複数選択できません

インターフェイス	IPv4アドレス	IPv6アドレス	管理ステータス	動作ステータス	説明	アクション
設定可能なインターフェイス						
<input type="checkbox"/> GigabitEthernet0/0			🟢	起動中		📄 🗑️
<input type="checkbox"/> GigabitEthernet0/1			🟢	起動中		📄 🗑️
<input checked="" type="checkbox"/> GigabitEthernet0/2			🟢	停止中		📄 🗑️

CCP Express Trunk設定方法

インターフェイスの設定-3

右のように設定をする

管理モード

トランク

トランクを許可するVLAN

設定されている全てのVLANを通信するため

すべて

スイッチポートの編集

インターフェイス GigabitEthernet0/2

説明

管理モード トランク

トランクを許可するVLAN すべて VLAN ID

ネイティブVLAN 1

PortFast 無効にする

デュプレックス 自動

スピード 自動

OK キャンセル

CCP Express Trunk設定方法

設定結果

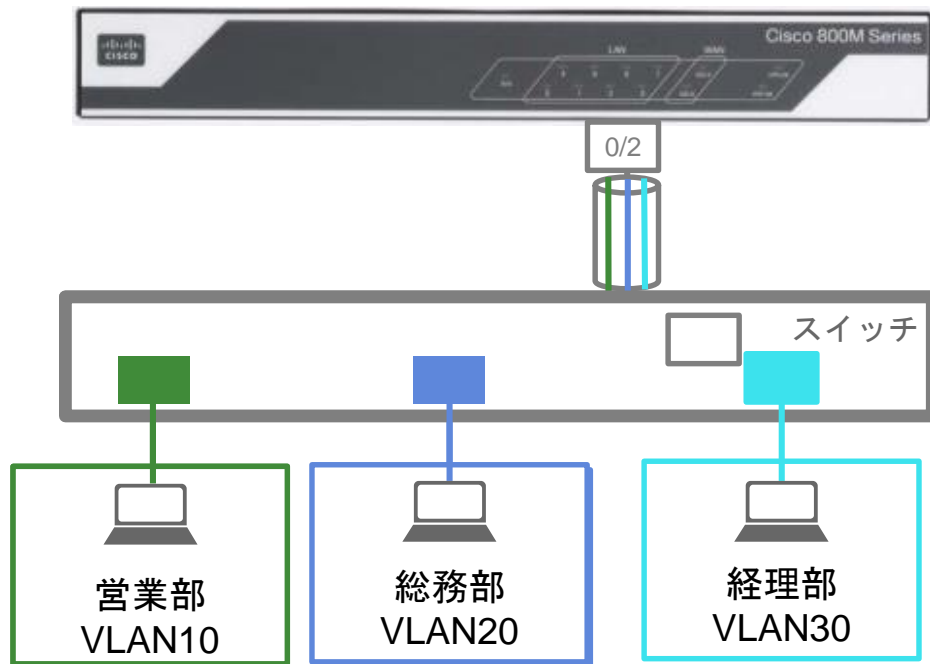
トランク設定を行ったので

VLAN10 (営業部) と

VLAN20 (総務部) と

VLAN30 (経理部) と

通信が出来るようになります

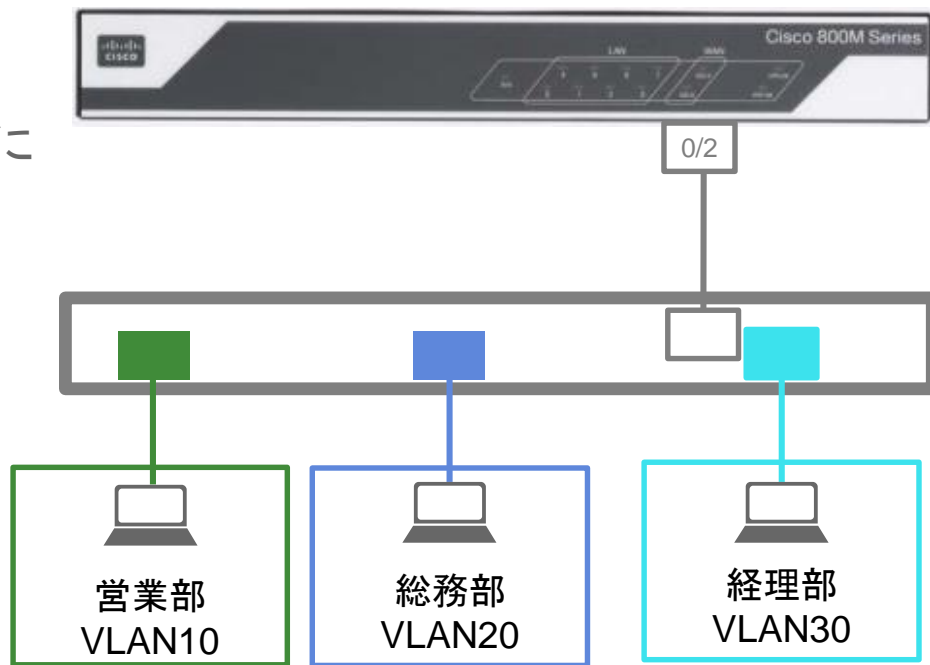


通信できる部署 (VLAN) を限定する方法

構成例-2

営業部 (VLAN10) と
総務部 (VLAN20) は通信できるが
経理部 (VLAN30) は通信できないように
設定をする

=Trunkの設定を
VLAN10とVLAN20のみにする



通信できる部署 (VLAN) を限定する方法

Trunk設定をするインターフェイスを開く

管理モード

トランク

トランクを許可するVLAN

VLAN ID

VLAN10と20を設定する場合

10,20 と入力

【その他設定例】

10-15 : 10~15まで連番を設定

10-15,20 : 10~15までの連番と20のみ

スイッチポートの編集

インターフェイス	GigabitEthernet0/2
説明	
管理モード	トランク
トランクを許可するVLAN	<input type="radio"/> すべて <input checked="" type="radio"/> VLAN ID
VLAN ID	10,20
ネイティブVLAN	1
PortFast	無効にする
デュプレックス	自動
スピード	自動

OK キャンセル

通信できる部署 (VLAN) を限定する方法

営業部 (VLAN10) と
総務部 (VLAN20) は通信できるが
経理部 (VLAN30) は通信できない
状態になった

